（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当		取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・各種ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し、上記同様相談窓口を設置して相談担当者への連絡体制を確立している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の改正内容を各施設担当者に共有している。長時間労働是正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方（時差勤務等）を許容する勤務体制の整備、対応を行っている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人雇用を促進して、寮など居住環境を整備し日本人同様の就業環境を整えている。 ・賃金や休暇についても日本人と同等の待遇にしている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・業務に関わる月次ミーティングや朝礼を積極的に実施し危険予知について注意喚起している。 ・厨房等、衛生管理を徹底的に行い法令を遵守した業務管理を行っている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	相談窓口を設けているほか、従業員一人一人のより働きやすい環境作りを目指し、各事業所ごとに定期的なミーティングを実施している。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・外国人、高齢者、及び障害者のアルバイト等雇用を積極的に推進して、働きやすい環境づくりにも配慮している。 ・女性の管理職登用を積極的に推進している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	フランチャイズや関連する業務等の公的講習会の参加を積極的に推進して従業員のスキルアップと能力開発に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・働き方改革等、国や行政の施策に促した勤務形態を整備している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・全従業員に施設内全面禁煙を義務付けることにより健康を維持させるとともに、禁止するだけでなく禁煙することによる意識から、タバコに対する精神的な依存を排除することによるメリットの説明も心掛ける様指導している。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・指定の廃棄物業者に業務委託するとともに、廃棄物の区分と種類を把握、適切に処理している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・電力デマンド監視システム（中部電気保安協会）を一部大型施設（中村屋、夢の湯、長峰荘、きよみず）に導入し、今後、必要施設に順次導入見込みである。 ・日々の灯油使用量を把握し、適正な使用に配慮している。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・設備新調時には温暖化ガス排出量の削減効果の高い設備の導入を優先している。 ・全施設で節電への意識付けをしている。 ・【予定】全施設蛍光灯のLED化を実施中。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令で規制されている有害化学物質を把握し、使用しないようにしている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・ペーパーレス会議システムを導入し、資料を紙ベースで出すことを禁止している。 ・社内稟議、社内間の連絡についてはペーパーレスの為、メールの活用をしている。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・コピー機トナーなどリサイクル商品が有る物は、積極的に取り入れている。 ・ペットボトルや紙、ダンボール等の資源廃棄物については、積極的に分別し、リサイクルしている。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・上下水の毎月の使用量を把握し、データを出して不要な水道使用量の削減に取り組んでいる。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】現在でも様々な環境マネジメント規格を意識した環境経営をしているが今後社内にて認証を取得すべきか議論していく。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】・HPにて「地球環境の向上への取組」を配信する予定。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・織花でバイオマスボイラーを設置し、非化石化エネルギーの使用（木くず）に積極的に取り組んでいる。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】・織花のバイオマスボイラーにて木くずの利用を推進しているが今後、他施設についても天然資源の活用が可能か検討していく。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・事務所内に防犯カメラ等の設置など、警察の指導の下、犯罪を抑止できる環境を整えている。また、倫理意識の徹底を職員に周知を図るよう、支配人には専門的知																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・商品開発において、競合店の商品や商標権を侵害しないよう徹底して商品開発やブランディングを行ってい																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	自社オリジナル製品について、商標登録している。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報保護基本規程により、個人情報の適切な保護と利用を図っている。 ・個人情報保護法に定められた適切な施錠を有する保管																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・取引先の選定には遵法意識が強いことを重視し、リスク管理を行っている。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先との人権侵害防止等の取組や倫理面の対応について認識を共有し行動している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・各施設の衛生管理、検査点検を自主的に行い、法令で定められた安全性の確保を図っている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・日報の義務化により、顧客からの要望、クレームを管理するため報連相+確認作業を徹底し、担当管理職の指導の下、各施設に共有し日々業務改善を図っている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・菓子製造において、規格外の果物を積極的に使用した商品の開発など環境にやさしい商品を開発している。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・跡継ぎがいない宿泊施設を譲り受ける等して、引き続き当該施設及び当該施設で勤務する従業員の雇用が守られるよう、運営している。 ・多様な働き方を望む人材の受け入れを積極的に行い、柔軟に対処してる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・経営理念を定め、信州の活性化を目標とし、多数の宿泊施設（旅館、ホテル）、飲食店、レンタカー店舗を営んでいる。 ・これまでに長野県にない飲食店のフランチャイズ誘致を行っている。 ・跡継ぎがいない宿泊施設を譲り受ける等して、引き続き当該施設及び当該施設で勤務する従業員の雇用が安定				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・子供向け料理教室の開催などを積極的に行っている。 ・地域のイベント、慈善団体、町内会など積極的に参加し、地域の方とともに社会貢献活動を行っている。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・各施設のＨＰなどで積極的に信州の魅力を発信している。 ・信州産にこだわり、米、牛肉、りんご等、地元農家から積極的に購入し、安定供給に貢献している								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・基本方針、基本理念、行動理念をクレドにより明文化している。 ・内部管理基本方針を定め、業務の健全性、適切性を確保するための態勢整備をしている。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・定期的なミーティングにより、職員に周知を図るとともに、管理職による具体的な教育指導を徹底し、一層の対応強化を図っている。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・責任者(担当役員)、担当部署などの体制整備をしている。（組織図により明確化し常に更新している）																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・基本方針を定め、具体的なステークホルダーに対する施策等を行っている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスク管理に関する基本方針を定め、リスク管理を経営上の重要課題と位置づけ、リスク管理体制の整備に取り組んでいる。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】プロジェクトチームを作り、社会的責任についての明文化を進めて行く。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・防火管理者が主体となり消防設備点検事業者の協力を得て、消防訓練を実施している。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	次世代幹部の育成に力を入れている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）